

宮崎県立西都原考古博物館開館20周年特別企画

# 「みんなの西都原フォトコンテスト2024」

宮崎県立西都原考古博物館では、令和6年4月に開館20年目を迎えることから、この節目の年を記念して写真コンテストを開催しました。

今回の展示会では、応募者が写した西都原の魅力を、作品を通して来館者に発信するとともに、観覧者による投票で各賞を決定します。




## 西都原考古博物館開館20周年記念特別展


# 海を越えたヒト・モノ・ココロの交流史

<b>展示会 I</b>	<b>海がつなぐ古代世界 ～対馬・西海・日向～</b>	
<b>日時</b>	令和6(2024)年7月6日(土)～9月8日(日)	
<b>内容</b>	古代から海と深いつながりを持って暮らしてきた人類。朝鮮半島南部を臨む国境の島「対馬」、外洋に面した多島海に特徴づけられる「西海」、南北に延びる長い海岸線を持つ「日向」では、それぞれ独自の歴史と文化が育まれました。 この展示会では、三地域の考古資料を中心に、縄文時代から続く多様な海洋文化を読み解きます。	

宮崎平野と重要文化財埴輪船(レプリカ)(西都原170号墳/西都市)

<b>展示会 II</b>	<b>「土偶の美」と「縄文の美」 ～東北日本と九州～</b>	
<b>日時</b>	令和6(2024)年10月5日(土)～12月8日(日)	
<b>内容</b>	1万年もの長きにわたり続いた縄文時代。その縄文人達が創りあげた「土偶」の多彩なデザインと美しさは、今なお現代人の心をとらえ続けています。 本展示会では、精神性豊かな縄文文化の世界について、東北地方と九州各地の土偶やこれらに関連する考古資料を中心に紹介します。	

遮光器型土偶(高梨遺跡/岩手県)

<b>展示会 III</b>	<b>美と権の装身具 ～玉が映した宮崎の古墳文化～</b>	
<b>日時</b>	令和7(2025)年1月18日(土)～3月23日(日)	
<b>内容</b>	1万年以上のはるか古より、人々を魅了してやまない装身具である「玉」。古墳時代には、美しい装飾品としてだけでなく、社会的地位や権威を示すアイテムとして人々は身に纏いました。 本展示会では、その小さくも煌びやかな世界に秘められた、当時の社会の成り立ちや繁栄、そして海を介した交流を読み解きます。	

西都原111号墳出土玉類(西都市)